番号	セッション名	口頭 （会場）	ポスター （会場）
20F-01	海洋における微量元素・同位体	29日午前 （第4）	―
20F-02	北方縁辺海域の海洋科学：物理・生物・化学の融合	27日午後 （第4）	27日 （第4）
20F-03	沿岸域の海洋循環と物質循環	27日 （第1）	27日 （第1）
20F-04	熱帯の物理・化学・生物	28日午前 （第1）	28日 （第3）
20F-05	海洋物質循環に関わる微生物の諸現象ー細胞から大洋スケールまでー	29日 （第2）	―
20F-06	数ヶ月から数10年スケールの気候変動とその予測～海洋・海氷の役割～	29日午後 （第4）	―
20F-07	バイオロギングと海洋観測	27日午後 （第1）	―
20F-08	海洋酸性化・貧酸素化・地球温暖化の海洋生態系への影響評価	28日午前 （第2）	28日 （第2）
20F-09	海洋と大気の力学	27日 （第2）	27日 （第2）
20F-10	極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究	29日 （第3）	29日 （第3）
20F-11	中緯度海洋の果たす役割	29日 （第1）	29日 （第1）
20F-12	日本周辺を中心とした現業海洋システムの最先端	27日 （第3）	27日 （第2）
20F-13	黒潮大蛇行	27日午後 （第2）	27日 （第2）
20F-14	日本海	28日午前 （第4）	28日 （第4）
20F-15	海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題	29日午後 （第2）	29日 （第2）
20F-16	国連海洋科学の10年	27日午後 （第3）	―
20F-17	海洋物理一般	28日午前 （第3）	28日 （第3）
20F-18	海洋化学一般	―	28日 （第2）
20F-19	海洋生物一般	27日午前 （第4）	27日 （第3）
20F-20	海洋科学総合	29日午後 （第3）	―

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
11月27日（金）	第1会場	開会挨拶	20F-03　沿岸域の海洋循環と物質循環			昼食	ポスター 20F-03	20F-03　沿岸域		20F-07　バイオロギングと海洋観測		
	第2会場		20F-09　海洋と大気の力学				ポスター 20F-09,12,13	20F-09　海洋と大気の力学			20F-13　黒潮大蛇行	
	第3会場		20F-12　日本周辺を中心とした現業海洋システムの最先端				ポスター 20-F19	20F-12　現業システム		20F-16　国連海洋科学の10年		
	第4会場		20F-19　海洋生物一般				ポスター 20-F02	20F-02　北方縁辺海域の海洋科学：物理・生物・化学の融合				

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18～
11月28日（土）	第1会場		20F-04　熱帯の物理・化学・生物			昼食		授賞式・受賞記念講演*				懇親会*
	第2会場		20-F08　海洋酸性化・貧酸素化・地球温暖化の海洋生態系への影響評価				ポスター 20F-08,18				若手*懇談会	
	第3会場		20F-17　海洋物理一般				ポスター 20F-04,17					
	第4会場		20F-14　日本海				ポスター 20F-14					

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
11月29日（日）	第1会場		20F-11中緯度海洋の果たす役割			昼食	ポスター 20F-11	20F-11中緯度海洋の果たす役割				
	第2会場		20F-05　海洋物質循環に関わる微生物の諸現象ー細胞から大洋スケールまでー				ポスター 20F-15	20F-05　微生物		20F-15　海洋教育・アウトリーチ活動		
	第3会場		20F-10　極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究				ポスター 20F-10	20F-10 極域	20F-20　海洋科学総合			
	第4会場		20F-01　海洋における微量元素・同位体					20F-06　数ヶ月から数10年スケールの気候変動とその予測～海洋・海氷の役割～				

※　プログラムは変更する場合があります。

※　28日午後の授賞式、懇親会、若手懇談会のZoomの会場URLは、午前の会場URLとは異なります。大会掲示板の該当するリンクから改めてお入り下さい。

11月27日（金）午前

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第1会場	
	20F-03 沿岸域の海洋循環と物質循環 森本 昭彦（愛媛大沿セ）・田中 潔（東大大海研）・一見 和彦（香川大農）・ 高橋 大介（東海大海洋）・古市 尚基（水研機構）	
		★座長　古市尚基（水産機構技術研）
9:00		趣旨説明
9:05	20F-03-1	鳴門海峡で形成される渦対：地形と密度成層の効果 山口卓也(北海道大学)・◯中村知裕(北海道大学)・中田聡史(国立環境研究所)・松村義正(東京大学)
9:20	20F-03-2	画像相関法による河川フロント上の速度場の推定 ◯阿部稜(九大院・総理工)・木田新一郎(九大応力研)・伊佐田智規(北大・FSC)・田中潔(東大大気海洋研)・中村知裕(北大低温研)・三寺史夫(北大低温研)
9:35	20F-03-3	駿河湾における潮位の季節変動 ◯高橋大介(東海大学)・藤井朋哉(東海大学)・森本昭彦(愛媛大学)・植原量行(東海大学)
9:50	20F-03-4	豊後水道の沿岸定線観測点における潮流調和定数の推定と残差流の季節変化 ◯森本昭彦(愛媛大学)・柴川大雅(愛媛大学)・滝川哲太郎(長崎大学)・平井真紀子(愛媛県)・三門哲也(愛媛県)・美山透(JAMSTEC)
10:05	20F-03-5	海色衛星で見る大阪湾の日平均海面塩分分布 ◯林美鶴(神戸大学内海域環境教育研究センター)・河本直樹(神戸大学海事科学部)・中田聡史(国立環境研究所)・廣川綜一(神戸大学大学院海事科学研究科)
10:20	20F-03-6	加古川流域の水資源開発と河川・河口域への影響 ◯大嶌巌(水資源を考える会)
10:35		休憩
		★座長　田中潔（東大大海研）
10:50	20F-03-7	日本海沿岸域の春季ブルームの発生メカニズム ◯島田浩明(九州大学・総合理工学府)・木田新一郎(九州大学・応用力学研究所)
11:05	20F-03-8	養殖ホタテガイの栄養塩排出が沿岸域の窒素循環に及ぼす影響 ◯伊藤暉(北海道大学大学院)
11:20	20F-03-9	高濁度海域における非接触クロロフィルa濃度推定手法の確立～海苔養殖海域における検討～ ◯小出将大(九州大学総合理工学府)・山口創一(九州大学総合理工学研究院)
11:35	20F-03-10	海苔養殖環境下で発生する赤潮を対象とした数値生態系モデルの開発 ◯南浦修也(九州大学大学院)・山口創一(九州大学大学院)

開始時刻	第2会場	
	20F-09 海洋と大気の力学 尾形 友道（JAMSTEC）・田村 仁（港湾技術研）・ 相木 秀則（名大）・三寺 史夫（北大低温研）	
		★座長　尾形 友道（JAMSTEC）
9:00	20F-09-1*	海洋表層の混合過程と波・流れ相互作用 ◯吉川裕(京都大学大学院理学研究科)
9:20	20F-09-2	高解像度気象モデルが再現する海上風 ◯伊藤純至(東北大学)
9:35	20F-09-3	南極周極流における波-平均流相互作用が風下波の砕波に与える影響 ◯高橋杏(University of Washington)・日比谷紀之(東京大学大学院
9:50	20F-09-4	乱流微細構造観測に基づく海底近傍での鉛直渦拡散係数の推定 ◯廣岡拓也(九州大学大学院総合理工学府)・遠藤貴洋(九州大学応用力学研究所)
10:05	20F-09-5	負温度を持つ二次元乱流からの不可逆的エネルギー抽出 ◯大貫陽平(九大応力研)
10:20		休憩
		★座長　大貫陽平（九大応力研）
10:35	20F-09-6	黒潮が影響する伊豆小笠原海嶺北部における内部波と渦 ◯増永英治(茨城大学)・内山雄介(神戸大学)・張旭(神戸大学)
10:50	20F-09-7	海底地形上を流れる地衡流の安定性 ◯田中祐希(福井県立大学)
11:05	20F-09-8	Tidally-modified western boundary current drives crossing straits exchange transport ◯周宏偉(北大低温研環オホーツク)・三寺史夫(北大低温研環オホーツク)・山崎開平(北大低温研)・中村知裕(北大低温研環オホーツク)・川崎高雄(東大大気海洋)・中野渡拓也(研究開発法人水産研)・西川はつみ(東大大気海洋)・佐々木英治(研究開発法人海洋研究開発機構)
11:20	20F-09-9	The dynamics of the deep mixed layer on the shelf break of the East Sakhalin ◯原楠(北海道大学　低温科学研究所)・三寺史夫(北海道大学　低温科学研究所)
11:35	20F-09-10	九州北西岸におけるM2潮振幅減少トレンドについて ◯松浦浩巳(九州大学大学院)・木田新一郎(応用力学研究所)・上原克人(応用力学研究所)・日比谷紀之(東京大学大学院)

11月27日（金）午前

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第3会場
	20F-12 日本周辺を中心とした現業海洋システムの最先端 **広瀬 成章（気象研）・大石 俊（理研）・黒田 寛（水研機構）・山中 吾郎（気象研）**
	★座長　広瀬 成章（気象研）
9:00	20F-12-1　国際共同研究プロジェクトOceanPredictについて ○藤井陽介(気象研究所)
9:15	20F-12-2　オペレーショナル海洋モデリングの二つの方向性について ○宮澤泰正(海洋研究開発機構)・Sergey M. Varlamov(海洋研究開発機構)・美山透(海洋研究開発機構)・章若潮(海洋研究開発機構)・青木邦弘(海洋研究開発機構)・郭新宇(海洋研究開発機構)
9:30	20F-12-3　高解像度沿岸海況予測システムがもたらすであろう海況把握の変革とその事例 ○黒田寛(水産研究・教育機構)・谷内由貴子(水産研究・教育機構)・葛西広海(水産研究・教育機構)・中野渡拓也(水産研究・教育機構)・瀬藤聡(水産研究・教育機構)
9:45	20F-12-4　アンサンブルカルマンフィルタを用いた海洋データ同化システムの力学的非平衡の改善 ○大石俊(理化学研究所)・日原勉(JAFIC)・相木秀則(名古屋大学)・石坂丞二(名古屋大学)・宮澤泰正(JAMSTEC)・可知美佐子(JAXA)・三好建正(理化学研究所)
10:00	20F-12-5*　気象庁現業海洋データ同化・予測システムの更新 ○浅井博明(気象庁)・檜垣将和(気象庁)・平原幹俊(気象庁)・桜井敏之(気象庁)・小林熙(気象庁)・碓氷典久(気象研究所)・坂本圭(気象研究所)・広瀬成章(気象研究所)
10:30	休憩 ★座長　黒田 寛（水研機構）
10:45	20F-12-6　新たな気象庁現業海況監視予測システムのプロダクトについて ○福田義和(気象庁)・吉田久美(気象庁)・桜井敏之(気象庁)・峯宏太郎(気象庁)・山根彩子(気象庁)
11:00	20F-12-7　JPNシステムによる海洋情報の利活用 ○山中吾郎(気象研究所　)・広瀬成章(気象研究所)・坂本圭(気象研究所)・碓氷典久(気象研究所)・高野洋雄(気象研究所)
11:15	20F-12-8　気象庁海洋大循環モデルを用いたニホンウナギの仔魚輸送実験 ○唐木達郎(京大森里海)・坂本圭(気象研)・木村伸吾(東大院新領域/大海研)・笠井亮秀(北大院)
11:30	20F-12-9　解像度2km日本沿岸モデルを用いた沿岸滞留時間の推定(2) ○坂本圭(気象研究所)・中野英之(気象研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・山中吾郎(気象研究所)・辻野博之(気象研究所)
11:45	20F-12-10　2km高解像度現業海況システムを用いた1971年9月異常潮位の再現実験とその要因 ○広瀬成章(気象庁気象研究所)・碓氷典久(気象庁気象研究所)・坂本圭(気象庁気象研究所)・高野洋雄(気象庁気象研究所)・山中吾郎(気象庁気象研究所)

開始時刻	第4会場
	20F-19 海洋生物一般 **プログラム編成委員会**
	★座長　高橋一生（東大院農）
9:00	20F-19-1　駿河湾における栄養塩の窒素：リン比の季節変化とその生物学的要因 ○宗林留美(静岡大理)・西山貴博(静岡大理)・西川淳(東海大海洋)・松浦弘行(東海大海洋)・吉川尚(東海大海洋)・大林由美子(愛媛大沿岸セ)・児玉武稔(水産機構資源研)
9:15	20F-19-2　東京湾における植物プランクトン増殖の栄養塩制限 ○日高　瞭(東京海洋大学・大学院海洋科学技術研究科)・西山 健太 ・安井沙織 ・橋濱 史典 ・片野俊也 (東京海洋大学)
9:30	20F-19-3　東京湾底泥における*Skeletonema*属休眠期細胞の季節変化のリアルタイムPCRを用いた解析 ○劉雅坤(東京海洋大学大学院)・古岡鳳夏(東京海洋大学大学院)・片野俊也(東京海洋大学)
9:45	20F-19-4　相模湾–黒潮域に棲息する*Synechococcus*の色素タイプと系統群 ○川上萌(東京海洋大学大学院)・田口華麗(東京海洋大学大学院)・F., Partensky(Station Biologique・Roscoff・France)・L., Galczarek(Station Biologique・Roscoff・France)・M., Ratin(Station Biologique・Roscoff・France)・片野俊也(東京海洋大学大学院)
10:00	20F-19-5　珪質鞭毛藻の骨格サイズに基づく進化 ○筒井英人(長崎大学水産学部)・高橋孝三(九州大理学府地球惑星科学)・西田史朗(奈良教育大学)・鈴木利一(長崎大学水産学部)・西脇二一(奈良大学)・保科一輝(山形大学)・R.W.ジョルダン(山形大学)
10:15	休憩 ★座長　片野俊也（東京海洋大）
10:30	20F-19-6　浮遊性有孔虫の光共生性に影響する環境要因の特定 ○高木悠花(東京大学)・齊藤宏明(東京大学)
10:45	20F-19-7　駿河湾沖合域に大量出現する沿岸性プランクトン枝角類―粒子追跡実験による出現メカニズムの検討 ○剣持瑛行(東海大学大学院)・石倉明依(東海大学大学院)・松浦弘行(東海大学)・吉川尚(東海大学)・宗林留美(静岡大学)・大林由美子(愛媛大学)・高橋大介(東海大学)・黒田寛(水産研究・教育機構)・西川淳(東海大学)
11:00	20F-19-8　北西太平洋におけるマイワシ・サバ類の炭素・窒素安定同位体比特性 ○中村健人(東大大気海洋研)・梅澤有(東京農工大)・由上龍嗣(水産機構水産資源研)・川端淳(水産機構水産資源研)・渡邊千夏子(水産機構水産資源研)・上村泰洋(水産機構水産資源研)・寺戸稔貴(長崎大水産・島根水技セ)・橋本涼介(長崎大水産)・Wan Xin(長崎大水産)・伊藤進一(東大大気海洋研) ★座長　西川淳（東海大）
11:15	20F-19-9　ビデオプランクトンレコーダーを用いた親潮域ポストブルーム期における沈降粒子炭素輸送量の推定 ○大南あかり(東京大学大学院)・高野永実子(東京大学大学院)・陳思珺(東京大学大学院)・岡崎雄二(東北区水産研究所)・筧茂穂(東北区水産研究所)・高橋一生(東京大学大学院)
11:30	20F-19-10　海洋生物識別精度向上のための深層強化学習を用いた自動前処理手法 ○岡村森(京都大学大学院)・山敷庸亮(京都大学大学院)

11月27日（金）午後

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第1会場
	20F-03 沿岸域の海洋循環と物質循環 森本 昭彦（愛媛大沿セ）・田中 潔（東大大海研）・一見 和彦（香川大農）・高橋 大介（東海大海洋）・古市 尚基（水研機構）
	★座長　一見和彦（香川大瀬戸内研セ）
14:15	20F-03-11　都市内湾水域におけるCO_2吸収と生物活動の影響 ○所立樹(国立環境研究所)・中岡慎一郎(国立環境研究所)・高尾信太郎(国立環境研究所)・桑江朝比呂(港湾空港技術研究所)・久保篤史(静岡大学)・遠藤徹(大阪市立大学)・野尻幸宏(弘前大学)
14:30	20F-03-12　湿原起源の鉄の海洋への輸送プロセスの解明 ○加藤寛己(北海道大学大学院環境科学院)・芳村毅(北海道大学水産科学研究院)・伊佐田智規(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)・黒田寛(水産研究・教育機構水産資源研究所)・白岩孝行(北海道大学低温科学研究所)・長尾誠也(金沢大学環日本海域環境研究センター)・西岡純(北海道大学低温科学研究所)・村山愛子(北海道大学低温科学研究所)・山下洋平(北海道大学地球環境科学院)
14:45	20F-03-13　東電福島第一原発事故起源の放射性セシウムの福島沿岸での$^{137}Cs/^{134}Cs$放射能比：溶存態と粒子態 ○青山道夫(筑波大学生命環境系)・浜島靖典(金沢大学環日センター)・Sabine Charmasson(IRSN, France)
15:00	20F-03-14　福島沖合の陸棚底層における粒子態^{137}Csの輸送と蓄積:　有機物粒子と底生生物の役割 ○乙坂重嘉(東大大気海洋研)・御園生敏治(原子力機構)・土肥輝美(原子力機構)・鶴田忠彦(原子力機構)・高橋嘉夫(東大・院・理)・杉原奈央子(東大大気海洋研)・小畑元(東大大気海洋研)・池上隆仁(海生研)・自見直人(極地研)・波々伯部夏美(東大・院・理)
	20F-07 バイオロギングと海洋観測 吉田 聡（京大防災研）・佐藤 克文（東大大海研）・土井 威志（JAMSTEC）・高橋 英俊（慶應大）・大石 俊（理研）・小松 幸生（東大新領域）
	★座長　吉田 聡（京大防災研）
15:45	趣旨説明
15:50	20F-07-1　Biologgingで実現するInternet of Animals ○佐藤克文(東京大学大気海洋研究所)・吉田聡(京都大学防災研究所)
16:05	20F-07-2*　海鳥を用いた海洋波浪観測の可能性 ○上坂怜生(東京大学・大気海洋研究所)・後藤佑介(CNRS・Centre d'Etudes Biologique de Chizé)・米原善成(東京大学・大気海洋研究所)・小松幸生(東京大学・大気海洋研究所)・成岡優(宇宙航空研究開発機構)・Henri Weimerskirch(CNRS・Centre d'Etudes Biologique de Chizé)・佐藤克文(東京大学・大気海洋研究所)・坂本健太郎(東京大学・大気海洋研究所)
16:35	20F-07-3　ウェッデルアザラシによる冬期南極海沿岸の海洋観測 ○國分亙彦(国立極地研究所)・田邊優貴子(国立極地研究所)・田村岳史(国立極地研究所)・Vigan Mensah(北海道大学)・平野大輔(北海道大学)・青木茂(北海道大学)・(国立極地研究所)
16:50	20F-07-4　ウミガメに搭載したセンサー由来の水温データを活用した季節予測実験 ~2017年のアラフラ海の高温について~ ○土井威志(JAMSTEC)・Andrea Storto(CMRE)・福岡拓也(東京大学AORI)・菅沼弘行(ELNA)・佐藤克文(東京大学AORI)
17:05	20F-07-5　ウミガメによるバイオロギングを用いた台風・爆弾低気圧下の海水温観測 ○吉田聡(京都大学)・佐藤克文(東京大学)・檜崎友子(東京大学)・福岡拓也(東京大学)
17:20	20F-07-6　海鳥のバイオロギングのための防水ピトー管の研究開発 ○高橋英俊(慶應義塾大学)・成岡優(宇宙航空研究開発機構)
17:35	総合討論

開始時刻	第2会場
	20F-09 海洋と大気の力学 尾形 友道（JAMSTEC）・田村 仁（港湾技術研）・相木 秀則（名大）・三寺 史夫（北大低温研）
	★座長　吉川裕（京大）
14:15	20F-09-11　β面浅水系モデルを用いたアジアモンスーン高気圧の季節内変動の研究 ○雨宮新(理化学研究所計算科学研究センター)
14:30	20F-09-12　区間一様モデルによる順圧渦の非軸対称成分の定式化 ○伊藤享洋(気象大学校)
14:45	20F-09-13　ひまわり8号衛星から推定された2018年台風Tramiの壁雲交換時の風速変化 ○辻野智紀(北海道大学)・堀之内武(北海道大学)・塚田大河(北海道大学)・Hung-Chi Kuo(国立台湾大学)・山田広幸(琉球大学)・坪木和久(名古屋大学)
15:00	20F-09-14　成層圏突然昇温に伴う熱帯対流活動の活発化ー成層圏循環規定実験による2019年南極昇温事例の影響評価ー ○野口峻佑(海洋研究開発機構)・黒田友二(気象研究所)・小寺邦彦(気象研究所)・渡辺真吾(海洋研究開発機構)
15:15	20F-09-15　年周期表層波動によるインド洋と太平洋間の相互作用 ○相木秀則(名古屋大学)・李　梓萌(名古屋大学)
15:30	20F-09-16　結合モデルのENSOに伴う海洋波動のエネルギー経路同定 ○尾形友道(JAMSTEC)・相木秀則(名大)・豊田隆寛(気象研)
	20F-13 黒潮大蛇行 美山 透（JAMSTEC）・山川 卓（東大農）・碓氷 典久（気象研）・瀬藤 聡（水研機構）
	★座長　碓氷 典久（気象研）
16:15	趣旨説明
16:20	20F-13-1*　黒潮大蛇行に伴う海況変化が本州太平洋沿岸域の水産業へ及ぼす影響 ○日下彰(水産機構・資源研)・櫻井正輝(鹿児島水技セ)・山田和也(宮崎水試)・竹尻浩平(大分水研)・後藤直登(愛媛水研セ)・伊與田慎右(高知水試)・石川陽子(徳島農水総技セ)・陶山公彦(和歌山水試)・丸山拓也(三重水研)・中野哲規(愛知水試)・上原陽平(静岡水技研)・岸香緒里(神奈川水技セ)・東元俊光(都島しょ総セ)・今泉洋介(都島しょ総セ)・大畑聡(千葉水総研セ)・大森健策(茨城水試)・瀬藤聡(水産機構・資源研)
16:35	20F-13-2　黒潮が英虞湾における水温の経年変動に及ぼす影響 ○万田敦昌(三重大学大学院)
16:50	20F-13-3　2017黒潮大蛇行の継続期間の推定 ○瀬藤聡(水産研究・教育機構)・日下彰(水産研究・教育機構)・伊藤大樹(水産研究・教育機構)・安倍大介(水産研究・教育機構)・亀田卓彦(水産研究・教育機構)
17:05	20F-13-4　2020年4月12－13日に三重県尾鷲市で発生した大雨に対する黒潮大蛇行の影響 栃本英伍(防災科学技術研究所)・○飯塚聡(防災科学技術研究所)
17:20	20F-13-5　多重解像度動的モード分解で見た2017年からの黒潮大蛇行 ○美山透(国立研究開発法人海洋研究開発機構)
17:35	総合討論

11月27日（金）午後

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第3会場
	20F-12 日本周辺を中心とした現業海洋システムの最先端 **広瀬 成章（気象研）・大石 俊（理研）・黒田 寛（水研機構）・山中 吾郎（気象研）**
	★座長　大石 俊（理研）
14:15	20F-12-11* 海況予報技術を活用したスマート沿岸漁業 ◯河野史郎(いであ株式会社)・小久保貴幸(いであ株式会社)・広瀬直毅(九州大学応用力学研究所)
14:45	20F-12-12 福井県沿岸域における海況情報システムの活用 ◯兼田淳史(福井県立大学)・岩崎俊祐(福井県水試)・手賀太郎(福井県水試)・瀬戸久武(福井県水試)・広瀬直毅(九大応力研)
15:00	20F-12-13 「しきさい」「しずく」によって観測された2020年の日本周辺の海洋環境 ◯村上浩(宇宙航空研究開発機構)
	20F-16 国連海洋科学の10年 **伊藤 幸彦（東大大海研）・近藤 能子（長大水産）**
	★座長　伊藤幸彦（東大大海研）
15:45	趣旨説明
15:50	20F-16-1 「国連海洋科学の10年」の動向と求められるもの ◯植松光夫(IOC-UNESCO EPG)
16:05	20F-16-2 災害による海洋ごみの大量流出　-台風通過に伴うマイクロプラスチックの流出を例に ◯中嶋亮太(海洋研究開発機構)・美山透(海洋研究開発機構)・北橋倫(海洋研究開発機構)・長野由梨子(海洋研究開発機構)・磯部紀之(海洋研究開発機構)・小栗一将(海洋研究開発機構)・生田哲朗(海洋研究開発機構)・吉田尊雄(海洋研究開発機構)・Heather Ritchie(海洋研究開発機構)・前田洋作(海洋研究開発機構)・山内拓也(熊本大学)・川村喜一郎(山口大学)・鈴川真季(山口大学)・青木邦弘(海洋研究開発機構)・土屋正史(海洋研究開発機構)・矢吹彬憲(海洋研究開発機構)
16:20	20F-16-3 洋上風力発電ファームの「魚礁効果」と「飛び石効果」 ◯中田英昭(長崎大学)
16:35	休憩
	★座長　近藤能子（長大水産）
16:50	20F-16-4 データの蓄積が明らかにする海洋環境変化 ◯安中さやか(海洋研究開発機構)
17:05	20F-16-5 沿岸から沖合にわたる海洋物理学研究と国連海洋科学の10年 ◯堤英輔(東京大学大気海洋研究所)・伊藤幸彦(東京大学大気海洋研究所)・松野健(九州大学応用力学研究所)・郭新宇(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)
17:20	20F-16-6 生物分野の一研究者が考える国連海洋科学の10年（UN Decade） ◯高橋一生(東京大学大学院)
17:35	20F-16-7 個人的海洋研究と「海洋科学の10年」の関わりについて考える ◯西岡純(北海道大学)
17:50	総合討論

開始時刻	第4会場
	20F-02 北方縁辺海域の海洋科学：物理・生物・化学の融合 **川口 悠介（東大大海研）・野村 大樹（北大北方圏セ）・阿部 泰人（北大水産）・田副 博文（弘前大被）・和賀 久朋（アラスカ大）**
	★座長　川口悠介（東大大海研）
14:15	20F-02-1 ロシア船を用いた西部ベーリング海の観測研究－航海の概要－ ◯西岡純(北大低温研)・他47名
14:30	20F-02-2 アナディル海峡における冷水湧昇：ロシア船・「みらい」による現場観測と数値実験 ◯川口悠介(東京大学・大気海洋研究所)・西岡純(北海道大学・低温科学研究所)・西野茂人(海洋研究開発機構)・藤尾伸三(東京大学・大気海洋研究所)・藤原周(海洋研究開発機構)・柳本大吾(東京大学・大気海洋研究所)・李根淙(韓国海洋科学技術院)・三寺史夫(北海道大学・低温科学研究所)・安田一郎(東京大学・大気海洋研究所)
14:45	20F-02-3 アナディール湾における水塊の経年変動：Dense Shelf Waterと太平洋起源水の影響 ◯阿部泰人(北大院水産)・野村大樹(北大北方生物圏セ)・平譯享(北大院水産)
15:00	20F-02-4 酸素安定同位体比を用いたベーリング海北部アナディール湾における高密度陸棚水形成の評価 ◯野村大樹(北大北方生物圏セ)・阿部泰人(北大院水産)・平譯享(北大院水産)・大木淳之(北大院水産)・山下洋平(北大院環境)・村山愛子(北大低温研)・小野数也(北大低温研)・西岡純(北大低温研)
15:15	20F-02-5 有色溶存有機物（CDOM）の光吸収係数により分類したベーリング海北部およびチュクチ海南部の水塊の分布 ◯平譯享(北大院水産・北大北極セ)・大井田穣示(北大院水産)・和賀久朋(アラスカ大・北大北極セ)・山下洋平(北大院環境)・阿部泰人(北大院水産)・西岡純(北大低温研・北大北極セ)
15:30	休憩
	★座長　野村大樹（北大北方生物圏セ）
15:45	20F-02-6 有色溶存有機物(CDOM)の光学的特性から見る西部北太平洋及び北部ベーリング海の水塊構造と栄養塩分布 ◯大井田穣示(北大院水産)・平譯享(北大院水産・北大北極セ)・山下洋平(北大院環境)・阿部泰人(北大院水産)・西岡純(北大低温研・北大北極セ)・和賀久朋(アラスカ大・北大北極セ)・野村大樹(北大院水産・北大北極セ)
16:00	20F-02-7 北太平洋における中層水循環に伴う外来性溶存有機物の輸送 ◯山下洋平(北海道大学)・森雄太郎(北海道大学)・遠坂哲(北海道大学)・亀崎龍一(北海道大学)・後藤周史(北海道大学)・西岡純(北海道大学)・馬場梨世(北海道大学)・安田一郎(東京大学)・藤尾伸三(東京大学)・平譯享(北海道大学)・大井田穣示(北海道大学)・小畑元(東京大学)・小川浩史(東京大学)
16:15	20F-02-8 東サハリン海流と海氷融解水が沿岸親潮水と南部オホーツク海の栄養塩と鉄の分布に与える影響に関する研究 ◯渡邊裕(北大・環境科学院、北大低温研)・三浦大輝(北大・環境科学院、北大低温研)・西岡純(北大低温研)・豊田威信(北大低温研)・村山愛子(北大低温研)・黒田寛(水産機構・資源研)・谷内由貴子(水産機構・資源研)・中野渡拓也(水産機構・資源研)・葛西広海(水産機構・資源研)
16:30	20F-02-9 オホーツク海北海道沿岸域における沈降粒子フラックスと地まきホタテガイの成長の関係 ◯児玉隆哉(北海道大学 大学院 環境科学院)
16:45	20F-02-10 Cs-134の水平分布からみた北海道東部太平洋海域における海水循環 ◯竹原亮成(金沢大LLRL)・井上睦夫(金沢大LLRL)・松中哲也(金沢大LLRL)・長尾誠也(金沢大LLRL)・黒田寛(水産機構・資源研)・谷内由貴子(水産機構・資源研)・葛西広海(水産機構・資源研)・森田貴己(水産機構・資源研)・三木志津帆(水産機構・資源研)・西岡純(北海道大低温研)
17:00	総合討論

11月28日（土）午前

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第1会場	
	20F-04 熱帯の物理・化学・生物 東塚 知己（東大理）・升本 順夫（東大理）・齊藤 宏明（東大大海研）・ 本多 牧生（JAMSTEC）・長谷川 拓也（北大地球環境）・ 名倉 元樹（JAMSTEC）・時長 宏樹（九大応力研）	
		★座長　長谷川 拓也（北大地球環境）
9:00		趣旨説明
9:05	20F-04-1*	Barrier Layer in the Eastern Pacific during the SPURS-2 Field Campaign 〇Shota Katsura(Scripps Institution of Oceanography, University of California , San Diego)・Janet Sprintall(Scripps Institution of Oceanography, University of California , San Diego)・Frederick M. Bingham(Center for Marine Science, University of North Carolina Wilmington)
9:25	20F-04-2	南シナ海夏季対流活動と日本周辺大気場への影響 〇瀬良将太(東北大学大学院)・杉本周作(東北大学大学院)
9:40	20F-04-3	西太平洋熱帯域における大気海洋相互作用とニンガルー・ニーニョ/ニーニャ現象の非対称性 〇楠秀大(東京大学大学院)・木戸晶一郎(海洋研究開発機構)・東塚知己(東京大学大学院・海洋研究開発機構)
9:55	20F-04-4	太平洋数十年規模振動がニンガルー・ニーニョ現象の局所増幅過程に与える影響 田沼夏美(東京大学)・〇東塚知己(東京大学)
10:10	20F-04-5	アラビア海西部のソマリア沖海域における夏季SST変動への年周期ロスビー波の影響 〇久住空広(東京大学大学院)・升本順夫(東京大学大学院、海洋研究開発機構)
10:25		休憩 ★座長　本多 牧生（JAMSTEC）
10:40	20F-04-6	インド洋ダイポールモード現象に伴う東極の海面水温偏差の非対称性 〇中里舞(東京大学大学院)・木戸晶一郎(海洋研究開発機構)・東塚知己(東京大学大学院・海洋研究開発機構)
10:55	20F-04-7	大気起源窒素が秋季東部インド洋の基礎生産に及ぼす影響評価 〇岩本洋子(広島大学大学院)・川本雄大(神戸大学大学院)・竹谷文一(海洋研究開発機構)・松本和彦(海洋研究開発機構)・本多牧生(海洋研究開発機構)・Eko Siswanto(海洋研究開発機構)・金谷有剛(海洋研究開発機構)・野口真希(海洋研究開発機構)・関谷高志(海洋研究開発機構)・山地一代(神戸大学大学院)
11:10	20F-04-8	セーシェルドーム域における栄養塩の鉛直供給プロセスの変動メカニズムに関する定量的な研究 〇横井孝暁(九大応力研)・伊藤進一(東大大海研)・Enrique Curchitser(Rutgers大学)
11:25	20F-04-9	Temporary phytoplankton biomass increases in oligotrophic subtropical and tropical oceans 〇江思宇(東京大学大気海洋研究所)・橋濱史典(東京海洋大学)・齊藤宏明(東京大学大気海洋研究所)
11:40	20F-04-10	マラッカ海峡沿岸における泥炭由来の有機炭素の海洋流出および輸送 〇山本浩一(山口大学大学院)・香川拓輝(山口大学大学院)・白水元(山口大学大学院)・Sigit Sutikno(リアウ大学)

開始時刻	第2会場	
	20F-08 海洋酸性化・貧酸素化・地球温暖化の海洋生態系への影響評価 藤井 賢彦（北大地球環境）・芳村 毅（北大水産）・小埜 恒夫（水研機構）	
		★座長　芳村 毅（北大水産）
8:45		趣旨説明
8:50	20F-08-1	西部北太平洋亜寒帯域における表面海水中全炭酸濃度の増加傾向 〇小野恒(気象庁気象研究所)・石井雅男(気象庁気象研究所)・飯田洋介(気象庁)・延与和敬(気象庁)・笹野大輔(気象庁)
9:05	20F-08-2	気象庁観測船による2010年代の北西太平洋亜熱帯域における全アルカリ度観測結果 〇小杉如央(気象研)・小野恒(気象研)・石井雅男(気象研)・延与和敬(気象庁)
9:20	20F-08-3	オホーツク海南岸における海洋酸性化モニタリングと生物影響調査 〇木元克典(国研）海洋研究開発機構)・下島公紀(東京海洋大学)・清水啓介(東京大学大学院)・脇田昌英(国研）海洋研究開発機構)・山口篤(北海道大学大学院)・松野孝平(北海道大学大学院)・村井克詞(オホーツク・ガリンコタワー（株））・吉田瞳(オホーツク・ガリンコタワー（株））・片倉靖次(紋別市)
9:35	20F-08-4	オホーツク海南岸における長期連続観測へのpH/pCO2センサの適用 〇下島公紀(東京海洋大学)・木元克典(JAMSTEC)・脇田昌英(JAMSTEC)・村井克詞(オホーツク・ガリンコタワー株式会社)・片倉靖次(紋別市)
9:50	20F-08-5	海洋酸性化による巻貝の幼殻形成への影響 〇清水啓介(東京大学)・木元克典(海洋研究開発機構)・脇田昌英(海洋研究開発機構)・諏訪僚太(沖縄科学技術大学院大学)
10:05	20F-08-6	北極海カナダ海盆における海洋酸性化の翼足類への影響 〇瀬尾将孝(東京海洋大学大学院)・川合美千代(東京海洋大学大学院)・木元克典(JAMSTEC)
10:20		休憩 ★座長　小埜 恒夫（水研機構）
10:35	20F-08-7	等密度面データを用いた北太平洋の溶存酸素濃度の長期変動 〇三品海斗(北海道大学大学院)・佐々木克徳(北海道大学大学院)・見延庄士郎(北海道大学大学院)
10:50	20F-08-8	過去半世紀の海洋貧酸素化における観測データセットとCMIPモデルとの比較 〇阿部佑美(北海道大学大学院)・見延庄士郎(北海道大学大学院)
11:05	20F-08-9	統合的気候モデル高度化研究プログラムにおける地球環境変化予測と海洋環境予測データの創出 〇河宮未知生(JAMSTEC)・石川洋一(JAMSTEC)
11:20	20F-08-10	北太平洋海洋生態系の変動とその気候との関係 Emi Yati(北海道大学・理学院)・〇見延庄士郎(北海道大学・理学研究院)・Nathan Mantua(NOAA)・伊藤　進一(東大・AORI)・Emanuele Di Lorenzo(ジョージア工科大学)
11:35	20F-08-11	北海道沿岸域における地球温暖化・海洋酸性化・貧酸素化指標の連続モニタリングと将来予測シミュレーション 〇藤井賢彦(北海道大学　大学院地球環境科学研究院)・高尾信太郎(国立環境研究所)・山家拓人(北海道大学　大学院環境科学院)・赤松知音(北海道大学　大学院環境科学院)・藤田大和(北海道大学　大学院環境科学院)・脇田昌英(海洋研究開発機構むつ研究所)・山本彬友(海洋研究開発機構)・小埜恒夫(水産研究・教育機構)
11:50		総合討論

11月28日（土）午前

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第3会場	
	20F-17 海洋物理一般 プログラム編成委員会	
		★座長　伊藤幸彦（東大大海研）
9:00	20F-17-1	アルゴフロートで観測された北太平洋における深度2000m付近の短期変動 〇川合義美(海洋研究開発機構)
9:15	20F-17-2	Salinity and thickness anomalies and their propagation in the upper North Pacific 〇王童(東北大学)・須賀利雄(東北大学)・纐纈慎也(海洋研究開発機構)
9:30	20F-17-3	教師なしクラスタリングによって同定される中緯度北西太平洋における海洋構造の境界 〇三部文香(東北大院理)・須賀利雄(東北大院理・JAMSTEC-RCGC)
9:45	20F-17-4	65年ぶりに再現した長崎湾の電子回路モデルとその再評価 〇小栗一将(海洋研究開発機構)
10:00	20F-17-5	三陸沿岸における水平微細構造の季節変動 〇伊藤幸彦(東大大海研)・堤英輔(東大大海研)・増永英治(茨城大)・坂本天(東大大海研)・石川和雄(東大大海研)・柳本大吾(東大大海研)・干場康博(東大大海研)・金子仁(東大大海研)・永田俊(東大大海研)・長谷川大介(水産機構資源研)・田中潔(東大大海研)
10:15		休憩
		★座長　北出裕二郎（東京海洋大）
10:30	20F-17-6	風成乱流による粒子の凝集・分裂が沈降過程に及ぼす影響に関する数値実験 〇西野圭佑(京都大学大学院　理学研究科)・吉川裕(京都大学大学院　理学研究科)
10:45	20F-17-7	南大洋域におけるDiffusive型対流が及ぼす鉛直熱輸送の推定 〇佐々木雄亮(東京大学大学院)・安田一郎(東京大学大気海洋研究所)・勝又勝郎(海洋研究開発機構)・纐纈慎也(海洋研究開発機構)・内田裕(海洋研究開発機構)
11:00	20F-17-8	回転及び鉛直シア存在下でのdiffusive型二重拡散対流の直接数値計算 〇松村義正(東京大学大気海洋研究所)・新野宏(東京大学大気海洋研究所)・安田一郎(東京大学大気海洋研究所)
11:15	20F-17-9	氷期気候における大西洋子午面循環の多重解構造とモード遷移メカニズム 〇安藤大悟(東京大学大学院)・岡顕(東京大学大学院
11:30	20F-17-10	最終氷期最大期と現在における潮汐混合の変化に対する大西洋子午面循環の応答 〇曽根田哲也(東京大学)・岡顕(東京大学)
11:45	20F-17-11	海洋モデル相互比較プロジェクトと日本からの貢献 〇辻野博之(気象庁気象研究所)・小室芳樹(海洋研究開発機構)・浦川昇吾(気象庁気象研究所)

開始時刻	第4会場	
	20F-14 日本海 井桁庸介（水研機構）・千手智晴（九大応力研）・川口　悠介（東大大海研）	
		★座長　千手智晴（九大応力研）
8:45		趣旨説明
8:50	20F-14-1*	日本海深層水中の放射性セシウム/ストロンチウム濃度の2000年代以降の変化 〇熊本雄一郎(海洋研究開発機構)・田副博文(弘前大学)・浜島靖典(金沢大学)・井上睦夫(金沢大学)・千手智晴(九州大学)・荒巻能史(国立環境研究所)
9:10	20F-14-2	日本海のトリチウムを利用した海水循環の解析 〇荒巻能史(国立環境研究所)・千手智晴(九大応力研)・熊本雄一郎(JAMSTEC)
9:25	20F-14-3	日本海における溶存酸素濃度と水温の長期変動 〇児玉洋之(北海道大学理学院)
9:40	20F-14-4	Argoフロートデータにみられる日本海上部固有水の温暖化 〇千手智晴(九大応力研)・銭玉(九大総理工)
		★座長　井桁庸介（水研機構）
9:55	20F-14-5	気象庁長期観測定点PM5における深層流の特徴 〇酒井秋絵(九州大学大学院)・千手智晴(九州大学応用力学研究所)
10:10		休憩
10:25	20F-14-6	日本海佐渡沖集中観測FATO'19 part-1:多波長物理現象間の相互作用とその可視化 〇川口悠介(東京大学・大気海洋研究所)・和川拓(水産機構・資源研究所)・矢部いつか(東京大学・大気海洋研究所)・伊藤大樹(水産機構・資源研究所)・伊藤幸彦(東京大学・大気海洋研究所)・千手智晴(九州大学・応用力学研究所)・井桁庸介(水産機構・資源研究所)
10:40	20F-14-7	日本海佐渡沖集中観測FATO'19 part-2:　複数の擾乱により発生した近慣性内部波 〇矢部いつか(東大大気海洋研)・川口悠介(東大大気海洋研)・和川拓(水研機構・資源研)・井桁庸介(水研機構・資源研)・伊藤大樹(水研機構・資源研)・千手智晴(九大応力研)
		★座長　川口　悠介（東大大海研）
10:55	20F-14-8	日本海に分布を拡大したムラサキクルマナマコ(*Polycheira fusca*)について 山脇信博(長崎大学水産学部)・〇筒井英人(長崎大学水産学部)・桑野和可(長崎大学水産学部)・生熊みどり(宇久井海と森の自然塾)・合澤格(長崎大学水産学部)・保科草太(長崎大学水産学部)・木下宰(長崎大学水産学部)・森井康宏(長崎大学水産学部)
11:10	20F-14-9	日本海南部における夏季植物プランクトン分布の東西変化 〇松本和彦(JAMSTEC)・笹岡晃征(JAMSTEC)・熊本雄一郎(JAMSTEC)・竹谷文一(JAMSTEC)・荒巻能史(NIES)
11:25	20F-14-10	日本海通過流の流量増加トレンド 〇木田新一郎(九州大学)・高山勝巳(九州大学)・佐々木克徳(北海道大学)・松浦博巳(九州大学)・広瀬直毅(九州大学)
11:40	20F-14-11	佐渡島よりも下流域における対馬暖流沿岸分枝の経年変動 〇井桁庸介(水産機構・資源研)・阿部祥子(水産機構・資源研)・和川拓(水産機構・資源研)・久賀みづき(水産機構・資源研)

11月29日（日）午前

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第1会場	
	20F-11 中緯度海洋の果たす役割 岡島 悟（東大先端研）・西川 はつみ（東大大海研）・遠山 勝也（気象研）・佐々木 克徳（北大理）	
		★座長　西川 はつみ（東大大海研）
9:00	20F-11-1	黒潮続流の十年規模変動に同期する亜寒帯前線東部の変動 〇野中正見(海洋研究開発機構)・佐々木英治(海洋研究開発機構)
9:15	20F-11-2	黒潮続流域における大気総観規模擾乱に対する海面熱フラックスおよび海洋応答の非対称性 〇富田裕之(名古屋大学 ISEE)・Meghan F. Cronin(NOAA PMEL)・大石俊
9:30	20F-11-3	ひまわり８号による北西太平洋の春季プルームの高解像度解析 〇酒井明日人(東大大気海洋研究所)・小松幸生(東大大気海洋研究所)
9:45	20F-11-4	気象研究所地球システムモデルMRI-ESM2.0における日本沿岸の海面水位変動とその変動要因 〇牛島悠介(気象業務支援センター)・辻野博之(気象庁気象研究所)・坂本圭(気象庁気象研究所)・石井正好(気象庁気象研究所)
10:00	20F-11-5	黒潮続流南方海域における冷水渦に関係した海洋混合層と亜表層の水温変化ーアルゴフロート観測データ解析ー 〇長谷川拓也(北大院地球環境/東北大院理)・細田滋毅(JAMSTEC・RIGC)・植原量行(東海大海洋)・谷本陽一(北大院地球環境/JAMSTEC・APL)
10:15		休憩
		★座長　遠山 勝也（気象研）
10:30	20F-11-6	黒潮・親潮合流域における塩分変動が混合層過程および　海面水温に与えるインパクト 〇木戸晶一郎(海洋研究開発機構)・野中正見(海洋研究開発機構)・谷本陽一(北大院地球環境)
10:45	20F-11-7	2006年から2017年における南インド洋亜熱帯循環の南北地衡流の変動 〇名倉元樹(海洋研究開発機構)
11:00	20F-11-8	トカラ海峡で観測された内部潮汐の特徴 〇高取大知(九州大学大学院総合理工学府)・千手智晴(九州大学大学院応用力学研究所)・遠藤貴洋(九州大学大学院応用力学研究所)・酒井秋絵(九州大学大学院総合理工学府)・堤英輔(東京大学大気海洋研究所)・中村啓彦(鹿児島大学水産学部)・郭新宇(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)
11:15	20F-11-9	領域海洋モデルにおける1901年から2010年の北太平洋亜熱帯モード水の水温上昇メカニズムについて 〇中村智哉(北海道大学大学院)・佐々木克徳(北海道大学大学院)
11:30	20F-11-10	南インド洋におけるモード水の変性メカニズム 〇松田拓朗(東京大学大学院)・升本順夫(東京大学大学院)

開始時刻	第2会場	
	20F-05 海洋物質循環に関わる微生物の諸現象ー細胞から大洋スケールまでー 山田 洋輔（OIST）・横川 太一（JAMSTEC）・重光 雅仁（JAMSTEC）	
		★座長　重光 雅仁（JAMSTEC）
9:00	20F-05-1*	微生物過程を取り入れた海洋物質循環の全球数値モデリング 〇羽角博康(東京大学)
9:15	20F-05-2	堆積過程の増幅を伴う南大洋の変化が氷期の海洋炭素循環に及ぼす影響 〇小林英貴(東京大学大気海洋研究所)・岡顕(東京大学大気海洋研究所)・山本彬友(海洋研究開発機構)・阿部彩子(東京大学大気海洋研究所)
9:30	20F-05-3	西部北太平洋亜寒帯域の効率的な生物炭素ポンプ 〇本多牧生(海洋研究開発機構)
9:45	20F-05-5	海洋細菌の表面性状がナノサイズ粒子の付着へ及ぼす影響 〇山田洋輔(沖縄科学技術大学院大学)・Nirav Patel(カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋研究所)・Farooq Azam(カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋研究所)・御手洗哲司(沖縄科学技術大学院大学)
10:00	20F-05-6	沈降性凝集体に発達する原核生物群集の動態：メソコスムを用いた実験的解析 〇海老原諒子(東京大学大気海洋研究所)・福田秀樹(東京大学大気海洋研究所)・横川太一(海洋研究開発機構)・永田俊(東京大学大気海洋研究所)
10:15		休憩
		★座長　横川 太一（JAMSTEC）
10:30	20F-05-7	沿岸環境におけるアマモ(*Zostera marina*)と藻場に生息する微生物との相互関係 〇Rocky Md Mehedi Iqbal(Department of Natural Environmental Studies, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo)・Nishimura Masahiko(Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo)・Yoshizawa Susumu(Department of Natural Environmental Studies, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo)
10:45	20F-05-8	海洋における水銀メチル化に関与する微生物群集の動態解析 〇多田雄哉(国立水俣病総合研究センター)・丸本幸治(国立水俣病総合研究センター)・武内章記(国立環境研究所)・岩本洋子(広島大学)・竹田一彦(広島大学)
11:00	20F-05-9	伊豆・小笠原海溝の蛍光性溶存有機物とDIC固定速度 〇重光雅仁(JAMSTEC)・横川太一(JAMSTEC)・内田裕 (JAMSTEC)・川口慎介(JAMSTEC)・村田昌彦(JAMSTEC)
11:15	20F-05-10	水中画像データを用いた単細胞動物プランクトン　(フェオダリア類・放散虫類)　の分布・生態解明 〇仲村康秀(島根大学)・高橋一生(東京大学)

11月29日（日）午前

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第3会場
	20F-10 極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究 藤原 周（JAMSTEC）・塩崎 拓平（東大大海研）・松野 孝平（北大水産）・大橋 良彦（海洋大）
	★座長　松野 孝平（北大水産）
9:00	趣旨説明
9:05	20F-10-1　オーストラリア-南極海盆ウィルクスランド沖における南極底層水の経年変化 〇小林大洋(海洋研究開発機構)・嶋田啓資(東京海洋大)・北出裕二郎(東京海洋大)・溝端浩平(東京海洋大)
9:20	20F-10-2　クロロフルオロカーボンと六フッ化硫黄を用いた南極海ケープダンレー沖における南極底層水の拡がりの定量化 〇大橋良彦(東京海洋大学)・川合美千代(東京海洋大学)・草原和弥(JAMSTEC)・佐々木建一(JAMSTEC)・馬場成美(東京海洋大学)・田村尚之(東京海洋大学)・野白夏海(東京海洋大学)・大島慶一郎(北海道大学低温科学研究所)
9:35	20F-10-3　南極海東インド洋セクターにおける海洋表面炭酸系成分の変化 〇戸澤愛美(北海道大学水産科学院)・野村大樹(北海道大学水産科学院・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・北海道大学北極域研究センター)・中岡慎一郎(国立環境研究所)・木内政彰(北海道大学水産科学院)・平野大輔(北海道大学北極域研究センター・北海道大学低温科学研究所)・青木茂(北海道大学低温科学研究所)・佐々木裕子(水産研究・教育機構　水産資源研究所)・村瀬弘人(東京海洋大学)
9:50	20F-10-4　東南極トッテン棚氷の底面融解が海洋の生物地球化学成分に与える影響 〇田村哲也(北海道大学大学院水産科学院)・野村大樹(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)・平野大輔(北海道大学低温科学研究所)・田村岳史(国立極地研究所)・木内政彰(北海道大学大学院水産科学院)・橋田元(国立極地研究所)・青木茂(北海道大学低温科学研究所)・佐々木裕子(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・村瀬弘人(東京海洋大学)
10:05	20F-10-5　南極海海氷域における窒素固定の発見 〇塩崎拓平(東京大学大気海洋研究所)・藤原周(海洋研究開発機構)・井之村啓介(ワシントン大学)・広瀬侑(豊橋技術科学大学)・橋濱史典(東京海洋大学)・原田尚美(海洋研究開発機構)
10:20	休憩
	★座長　藤原 周（JAMSTEC）
10:35	20F-10-6　サハリン沖係留観測で得られたADCPデータを用いたフラジルアイスの存在深度の推定 〇伊藤優人(海洋研究開発機構)・大島慶一郎(北海道大学 低温科学研究所)・深町康(北海道大学 北極域研究センター)・水田元太(北海道大学 大学院環境科学院)・楠本仁麦(株式会社ハイドロシステム開発)・菊地隆(海洋研究開発機構)
10:50	20F-10-7　北極海バロー海底谷を通過する夏季太平洋水の昇温 〇伊東素代(国立研究開発法人　海洋研究開発機構)・菊地隆(国立研究開発法人　海洋研究開発機構)・西野茂人(国立研究開発法人　海洋研究開発機構)
11:05	20F-10-8　チャクチ海の過去最少の海氷による2017/18年東アジアの寒冬の強化 〇太田圭祐(三重大学大学院)・立花義裕(三重大学大学院)・安藤雄太(三重大学大学院)
11:20	20F-10-9　秋季西部北極海における表面海水中炭酸系パラメータの時空間変動 〇村田昌彦(海洋研究開発機構)・猪上　淳(国立極地研究所)・西野茂人(海洋研究開発機構)・安中さやか(海洋研究開発機構)
11:35	20F-10-10　河川からの物質輸送は北極海の酸性化にどんな影響を与えるか？ 〇張圓昕(東京海洋大学・大学院海洋科学技術研究科)・川合　美千代(東京海洋大学・海洋環境科学部門)・渡邊　英嗣(海洋研究開発機構・北極環境変動総合研究センター)

開始時刻	第4会場
	20F-01 海洋における微量元素・同位体 小畑 元（東大大海研）・張 勁（富山大理工）・西岡 純（北大低温研）・近藤 能子（長大水産）・乙坂 重嘉（東大大海研）
	★座長　小畑 元（東大大海研）・張 勁（富山大理工）・乙坂 重嘉（東大大海研）
9:00	20F-01-1　北太平洋亜熱帯循環域における硝酸塩窒素同位体分布 〇堀井幸子(水産研究・教育機構)・高橋一生(東大院農)・福島慶太郎(京大生態学研究センター)・大西雄二(京大生態学研究センター)・滝野翔大(東大院農)・山口珠葉(水産研究・教育機構)・木庭啓介(京大生態学研究センター)・古谷研(創価大学)
9:15	20F-01-2　New insights into the biogeochemical cycling of copper in the Subarctic Pacific 〇WongKuo Hong(東京大学大気海洋研究所)・小畑元(東京大学大気海洋研究所)・Taejin Kim(Pukyong National University, Korea)・近藤能子(長崎大学)・西岡純(北海道大学)
9:30	20F-01-3　東部南太平洋および南大洋における溶存鉄濃度分布 〇三浦大輝(北大院環境・北大低温研)・西岡純(北大院環境・北大低温研)・小畑元(東大大海研)・近藤能子(長崎大院水産・環境)・深澤徹(新潟大院自然)・小川浩史(東大大海研)・津田敦(東大大海研)
9:45	20F-01-4　北太平洋・インド洋北部・南極海における白金の分布 〇眞塩麻彩実(金沢大・理工)・三浦暖加(金沢大・理工)・長谷川浩(金沢大・理工)・小畑元(東大・大海研)
10:00	20F-01-5　海洋大循環モデルによる希土類元素濃度全球分布の再現 〇岡顕(東京大学)・小畑元(東京大学)・田副博文(弘前大学)
10:15	休憩
	★座長　近藤 能子（長大水産）・西岡 純（北大低温研）
10:30	20F-01-6　海氷域における還元態鉄測定法の検討 〇漢那直也(東京大学大気海洋研究所)・小畑元(東京大学大気海洋研究所)
10:45	20F-01-7　有明海表層のビタミンB12分布と植物プランクトン群集組成への影響 高橋成美(長崎大学大学院水産環境科学総合研究科)・〇近藤能子(長崎大学大学院水産環境科学総合研究科)・近藤幹大(長崎大学水産学部)・高谷智裕(長崎大学大学院水産環境科学総合研究科)・鈴木利一(長崎大学大学院水産環境科学総合研究科)・和田実(長崎大学大学院水産環境科学総合研究科)・武田重信(長崎大学大学院水産環境科学総合研究科)
11:00	20F-01-8　Wide-range detection of Cu-binding organic ligands in seawater using reverse titration 〇Wiwit(The University of Tokyo)・Kuo Hong Wong(The University of Tokyo)・福田秀樹(The University of Tokyo)・小川浩史(The University of Tokyo)・眞塩麻彩実(Kanazawa University)・近藤能子(Nagasaki University)・西岡純(Hokkaido University)・小畑元(The University of Tokyo)
11:15	20F-01-9　深層の海水から得られた有機金属配位子の光分解 〇佐藤光秀(長崎大学)・緒方菜月(長崎大学)・黄国宏(東大大海研)・小畑元(東大大海研)・武田重信(長崎大学)

11月29日（日）午後

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第1会場
	20F-11 中緯度海洋の果たす役割 **岡島 悟（東大先端研）・西川 はつみ（東大大海研）・遠山 勝也（気象研）・佐々木 克徳（北大理）**
	★座長　岡島 悟（東大先端研）
14:15	20F-11-11* 中緯度気候現象の中長期変調や変化の理解に向けた取組み 〇望月崇(九州大学大学院)・小坂優(東京大学先端科学技術研究センター)・森正人(九州大学応用力学研究所)・今田由紀子(気象研究所)・宮川知己(東京大学大気海洋研究所)
14:30	20F-11-12 黒潮大蛇行に伴う海面水温変動に対する爆弾低気圧の応答プロセス 〇平田英隆(立正大学)・川村隆一(九州大学大学院)・野中正見(JAMSTEC)
14:45	20F-11-13 近年の関東地方における降雪の極端化とそれをもたらす環境場の変化 〇中村祐貴(三重大院生物資源)・立花義裕(三重大院生物資源)・安藤雄太(三重大院生物資源)
15:00	20F-11-14 西岸境界流に沿う海上風収束極大の形成過程 〇升永竜介(東京大学)・中村尚(東京大学)・田口文明(富山大学)・宮坂貴文(気象業務支援センター)
15:15	20F-11-15 北太平洋における移動性擾乱活動の『真冬の振幅低下』のメカニズムに関する調査 〇岡島悟(東京大学先端科学技術研究センター)・中村尚(東京大学先端科学技術研究センター)・Yohai Kaspi(ワイツマン科学研究所)
15:30	20F-11-16 中緯度の海陸コントラストがもたらす初冬の成層圏循環の弱化 〇安藤雄太(三重大学大学院生物資源学研究科)・山崎孝治(北海道大学)・立花義裕(三重大学大学院生物資源学研究科)・小木雅世(北海道大学)・浮田甚郎(新潟大学)
15:45	20F-11-17 南インド洋冬季亜熱帯高気圧の維持メカニズム 〇宮本歩(東京大学)・中村尚(東京大学)・宮坂貴文(気象業務支援センター)・小坂優(東京大学)・田口文明(富山大学)・西井和晃(三重大学)

開始時刻	第2会場
	20F-05 海洋物質循環に関わる微生物の諸現象ー細胞から大洋スケールまでー **山田 洋輔（OIST）・横川 太一（JAMSTEC）・重光 雅仁（JAMSTEC）**
	★座長　山田 洋輔（OIST）
14:15	20F-05-11 細菌個体隔離デバイスの海洋学への応用 〇横川太一(国立研究開発法人　海洋研究開発機構)・張翼(国立研究開発法人海洋研究開発機構)
14:30	20F-05-12 バクテリア生産速度測定における放射性同位体を用いないロイシン法の開発 〇土屋健司(国立環境研究所)・佐野友春(国立環境研究所)・冨岡典子(国立環境研究所)・小松一弘(国立環境研究所)・今井章雄(国立環境研究所)・早川和秀(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・永田貴丸(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・岡本高弘(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・桑原ビクター伸一(創価大学)・高津文人(国立環境研究所)
14:45	20F-05-13 細胞間の不均一な窒素固定活性が分布範囲の拡大に寄与する可能性 〇増田貴子(チェコ科学アカデミー)・井之村啓介(ワシントン大学)・高畑直人(東大大気海洋研)・塩崎拓平(東大大気海洋研)・佐野有司(東大大気海洋研)・Curtis Deutsch(ワシントン大学)・Ondřej Prášil(チェコ科学アカデミー)・古谷研(創価大理工)
15:00	総合討論
	20F-15 海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題 **丹羽淑博（東大）・市川洋（教育問題研究会）・巻田邦夫（東海大）・須賀利雄（東北大）**
	★座長　丹羽淑博（東大）
15:45	趣旨説明
15:50	20F-15-1 理科教育に組込んだ海洋教育プログラムの単元開発～オンライン授業による実習体験の可能性を探る～ 〇和田薫(明星大学理工学部)・後藤仁敏(鶴見大学名誉教授)・大森紀幸(八王子市立由井中学校)
16:05	20F-15-2 Raspberry Piを用いたプログラミング教育の実践　－温度ロガーの製作を例として 〇小栗一将(海洋研究開発機構)・加藤淳太郎(愛知教育大学)
16:20	20F-15-3 国際海洋リテラシー調査第４版現場試験の結果 〇市川洋(日本海洋学会教育問題研究会)・今宮則子(NPO法人海の自然史研究所)・都築章子(NPO法人海の自然史研究所)
16:35	総合討論

11月29日（日）午後

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第3会場
	20F-10 極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究 **藤原 周（JAMSTEC）・塩崎 拓平（東大大海研）・松野 孝平（北大水産）・大橋 良彦（海洋大）**
	★座長　塩崎 拓平（東大大海研）
14:15	20F-10-11 2017年と2018年夏季の北部ベーリング海における大型カイアシ類の個体群構造の経年差：海氷融解時期との関係 〇木村文彦(北海道大学大学院水産科学院)・松野孝平(北海道大学大学院水産科学院)・山口篤(北海道大学大学院水産科学院)
14:30	20F-10-12 グリーンランド北西部ボードインフィヨルドにおけるマイクロおよびメソ動物プランクトン群集の空間分布 〇筈見柊也(北海道大学大学院)・松野孝平(北海道大学水産科学研究院)・漢那直也(東京大学大気海洋研究所)・杉山慎(北海道大学低温科学研究所)・山口篤(北海道大学水産科学研究院)
	20F-20 海洋科学総合 **プログラム編成委員会**
	★座長　髙橋一生（東大院農）
15:15	20F-20-1 九州西岸海域におけるマイクロプラスチック密度の季節変動 〇小林恒文(長崎大学大学院)・丸山裕豊(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・眞角聡(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・内田淳(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・青島隆(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・清水健一(長崎大学総合生産科学域水産学領域)・八木光晴(長崎大学総合生産科学域水産学領域)
15:30	20F-20-2 日本近海における浮遊マイクロプラスチックの空間分布 〇伊東大輔(九州大学大学院総合理工学府)・磯辺篤彦(九州大学応用力学研究所)
15:45	20F-20-3 生物過程を考慮した海洋浮遊マイクロプラスチックの鉛直輸送に関する数値実験 〇吉武珠穂(九州大学大学院)・磯辺篤彦(九州大学応用力学研究所)
16:00	20F-20-4 散乱光強度を用いた液中微細粒子粒径計測 〇池田知貴(群馬大学大学院)・星野駿(群馬大学大学院)・ゴンザレスファン(群馬大学大学院)・荒木幹也(群馬大学大学院)

開始時刻	第4会場
	20F-06 数ヶ月から数10年スケールの気候変動とその予測～海洋・海氷の役割～ **土井 威志（JAMSTEC）・豊田 隆寛（気象研究所）・中野渡 拓也（水研機構）**
	★座長　土井 威志（JAMSTEC）
14:15	趣旨説明
14:17	20F-06-1* 海氷が気象・気候場に及ぼす影響 〇本田明治(新潟大学)
14:32	20F-06-2 パインアイランド(Pine　Island)とスウェイツ(Thwaites)氷河の融解率に対する棚氷融解水フィードバック 〇陸可凡(国立研究開発法人海洋研究開発機構) ★座長　中野渡 拓也（水研機構）
14:47	20F-06-3 初冬チュクチ海の海氷拡大遅延の要因とその予測可能性 〇中野渡拓也(水産研究・教育機構)・猪上淳(国立極地研究所)・Jinlun Zhang(ワシントン大学)・黒田寛(水産研究・教育機構)
15:02	20F-06-4 Skillful sea-ice prediction in the Weddell Sea using sea-ice initialization schemes 〇森岡優志(海洋研究開発機構)・Dorotea Iovino(CMCC)・Andrea Cipollone(CMCC)・Simona Masina(CMCC)・Swadhin K. Behera(海洋研究開発機構)
15:17	休憩
15:32	20F-06-5 粒子追跡法と渦解像モデルを用いた、東経137度に到達する水塊に対する中規模渦の働き 〇中野英之(気象研究所)・松村義正(東大大気海洋研究所)・辻野博之(気象研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・山中吾郎(気象研究所)
	★座長　豊田 隆寛（気象研究所）
15:47	20F-06-6 大気海洋結合モデルMIROC6を用いた　季節から数年規模気候変動予測 〇片岡崇人(海洋研究開発機構)・建部洋晶(海洋研究開発機構)・小山博司(海洋研究開発機構)・望月崇(九州大学)・大越智幸司(海洋研究開発機構)・直江寛明(気象研究所)・今田由紀子(気象研究所)・塩竈秀夫(環境研究所)・木本昌秀(東京大学大気海洋研究所)・渡部雅浩(東京大学大気海洋研究所)
16:02	20F-06-7 海洋再解析を用いたENSOのエネルギーフロー診断 〇豊田隆寛(気象庁 気象研究所)・中野英之(気象庁 気象研究所)・相木秀則(名古屋大学)・尾形友道(JAMSTEC)・菅野湧貴(電力中央研究所)・浦川昇吾(気象庁 気象研究所)・坂本圭(気象庁 気象研究所)・山中吾郎(気象庁 気象研究所)・名倉元樹(JAMSTEC)
16:17	20F-06-8 2019-2020年の記録的な暖冬を、数ヶ月前から予測する鍵は、スーパーインド洋ダイポールモード現象 〇土井威志(JAMSTEC/VAiG/APL)・Swadhin Behera(JAMSTEC/VAiG/APL)・山形俊男(JAMSTEC/VAiG/APL)
16:32	総合討論

ポスターセッション

掲示期間　11月27日 09:00～11月29日 17:00

立ち合い説明　11月27日 13:00～14:00
（セッション20F-02, 20F-03, 20F-09, 20F-12, 20F-13, 20F-19）
11月28日13:00～14:00
（セッション20F-04, 20F-08, 20F-14, 20F-17, 20F-18）
11月29日13:00～14:00
（セッション20F-10, 20F-11, 20F-15）

11月27日

20F-02　北方縁辺海域の海洋科学：物理・生物・化学の融合（第4会場）

20F-02-P1　千島ブッソル海峡において観測された流速変動特性
〇柳本大吾(東京大学大気海洋研究所)・安田一郎(東京大学大気海洋研究所)・藤尾伸三(東京大学大気海洋研究所)・田中雄大(水産研究・教育機構)・後藤恭敬(気象庁)・西岡純(北海道大学低温科学研究所)

20F-02-P2　天皇海山列北端を通過する深層流
〇藤尾伸三(東京大学)・柳本大吾(東京大学)・川口悠介(東京大学)・安田一郎(東京大学)・李根淙(KIOST)・西岡純(北海道大学)

20F-02-P3　2017・2018年北部ベーリング海における成層強度の時空間変動とその要因
〇上野洋路(北海道大学)・小松瑞紀(北海道大学)・吉兆千一(上海海洋大学)・土橋稜(北海道大学)・村松美幌(北海道大学/JAMSTEC)・阿部泰人(北海道大学)・今井圭理(北海道大学)・大木淳之(北海道大学)・平譯享(北海道大学)

20F-03　沿岸域の海洋循環と物質循環（第1会場）

20F-03-P1　福島県から宮城県沖の海底近傍における懸濁粒子動態の現場観測
〇古市尚基(水産研究・教育機構水産技術研究所)・帰山秀樹(水産研究・教育機構水産資源研究所)・杉松宏一(水産研究・教育機構水産技術研究所)

20F-03-P2　水生植物における溶存有機炭素浸出量とその分解特性
〇田中秀幸(静岡大学)・久保篤史(静岡大学)

20F-03-P3　海草・海藻類の準難分解性有機物の簡易定量評価
〇宮田達(東京農工大学大学院)・梅澤有(東京農工大学大学院)・井田拓成(東京農工大学大学院)・和田茂樹(筑波大学大学院)・仲岡雅裕(北海道大学大学院)・堀川祥生(東京農工大学大学院)・渡辺誠(東京農工大学大学院)・桑江朝比呂(港湾空港技術研究所)

20F-03-P4　有色溶存有機物の光吸収係数を用いた河川水の影響範囲の推定方法の検討
〇小林志保(京都大学大学院)・上田幸男(徳島水研)・湯浅明彦(徳島水研)・原田慈雄(和歌山県有田振興局)・御所豊穂(和歌山県東牟婁振興局)・中田聡史(国立環境研究所)・山本圭吾(大阪環農水研)・秋山諭(大阪環農水研)

20F-03-P5　ドローン搭載赤外カメラによる河川フロントの観測
〇高見健大朗(九州大学大学院　総合理工学府)・木田新一郎(九州大学　応用力学研究所)・磯辺篤彦(九州大学　応用力学研究所)

20F-03-P6　瀬戸内海平郡島の周辺藻場における一次生産量の評価
〇井田拓成(東京農工大学大学院)・梅澤有(東京農工大学大学院)・宮田達(東京農工大学大学院)・渡辺謙太(港湾空港技術研)・梶田淳(水圏リサーチ（株））・真鍋康司(水圏リサーチ（株））・吉田吾郎(水産機構水産技術研)・桑江朝比呂(港湾空港技術研)

20F-09　海洋と大気の力学（第2会場）

20F-09-P1　大槌湾内においてうねりが風波の発達に与える影響の実態について
〇小松幸生(東大院新領域／大気海洋研)・尾松弘嵩(東大院新領域／大気海洋研)・田中潔(東大大気海洋研)

20F-12　日本周辺を中心とした現業海洋システムの最先端（第2会場）

20F-12-P2　春季における佐渡島沖合域の上層低塩水の形成過程
〇和川拓(水産機構・資源研)・井桁庸介(水産機構・資源研)・坂本圭(気象研)

20F-13　黒潮大蛇行（第2会場）

20F-13-P1　2020年6月以降の黒潮大蛇行の経過と冷水渦の切離
〇吉田久美(気象庁)・福田義和(気象庁)・桜井敏之(気象庁)・平原幹俊(気象庁)・峯宏太郎(気象庁)・山根彩子(気象庁)・辻健太郎(気象庁)・奥中裕佳(気象庁)・小林熙(気象庁)

20F-13-P2　黒潮における植物プランクトンクロロフィル量の時間変動成分の同定と成分間関係の解析
〇北岡哲(北海道大学　地球環境)・佐藤恵子(北海道大学　北極域研究センター)・平田貴文(北海道大学　北極域研究センター)

20F-19　海洋生物一般（第3会場）

20F-19-P1　松島湾におけるマガキ産卵積算水温と浮遊幼生の出現
〇横内克巳(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・伊藤博(宮城県水産技術総合センター)・筧茂穂(国立研究開発法人水産研究・教育機構)

20F-19-P2　マイクロイメージングデバイスによる撮影画像とAIによるマガキ幼生同定技術の開発に向けた取組
〇筧茂穂(水産研究・教育機構　水産資源研究所)・伊藤博(宮城県水産技術総合センター)・上野宗一郎(IDDK)・関内孝行(プロトソリューション)・鈴木宏輔(アンデックス)・竹内寛(IDDK)

11月28日

20F-04	熱帯の物理・化学・生物（第3会場）
20F-04-P1	熱帯大西洋海面水温偏差の赤道非対称性の10年規模変動と中緯度大気循環との関係
	○古川善信(東北大学大学院)・杉本周作(東北大学大学院)
20F-08	海洋酸性化・貧酸素化・地球温暖化の海洋生態系への影響評価（第2会場）
20F-08-P1	北日本におけるホタテガイ養殖施設近傍の海洋酸性化の現状把握
	○森亜弓美(北海道大学大学院環境科学院)・芳村毅(北海道大学大学院水産科学研究院)・工藤勲(北海道大学大学院水産科学研究院)・阪口耕一(サロマ湖養殖漁業協同組合)
20F-08-P2	日本周辺海域における海洋酸性化傾向の評価のための炭酸系の再構築手法の開発
	○飯田洋介(気象庁)・石井雅男(気象研)
20F-14	日本海（第4会場）
20F-14-P1	日本海東部における日本海極前線の長期変動
	○阿部祥子(国立研究開発法人　水産研究・教育機構)・井桁庸介(国立研究開発法人　水産研究・教育機構)・和川拓(国立研究開発法人　水産研究・教育機構)・久賀みづき(国立研究開発法人　水産研究・教育機構)
20F-14-P2	若狭湾湾口底層におけるADCP長期係留観測
	○兼田淳史(福井県立大学)・長谷川直哉(福井県立大学)・手賀太郎(福井水試)・瀬戸久武(福井水試)
20F-14-P3	佐渡島北西海域における動物プランクトンの季節変動
	○竹内茉莉香(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・和川拓(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・井口直樹(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・井桁庸介(国立研究開発法人水産研究・教育機構)
20F-14-P4	対馬暖流系における動物プランクトン湿重量の長期変動
	○児玉武稔(水産研究・教育機構　水産資源研究所)・井桁庸介(水産研究・教育機構　水産資源研究所)
20F-17	海洋物理一般（第3会場）
20F-17-P1	拡散を考慮した亜表層季節変動の推定
	○纐纈慎也(海洋研究開発機構)
20F-17-P2	PALSAR-2による台風・ハリケーンの海上風計測
	○磯口治(（一財）リモート・センシング技術センター)・田殿武雄(JAXA・EORC)・大木真人(JAXA・EORC)・嶋田宇大(気象庁気象研究所)・山口宗彦(気象庁気象研究所)・林昌宏(気象庁気象研究所)・柳瀬亘(気象庁気象研究所)
20F-17-P3	松島湾におけるマガキ幼生輸送予測モデル開発に向けた現地調査
	○筧茂穂(水産研究・教育機構　水産資源研究所)・横内克巳(水産研究・教育機構　水産資源研究所)・伊藤博(宮城県水産技術総合センター)
20F-17-P4	大阪湾における数十年スケールの潮汐変化
	○嘉村拓海(九大総理工)・松浦浩巳(九大総理工)・上原克人(九大応力研)
20F-17-P5	温暖化時の海底境界層モデルによる海洋鉛直熱輸送
	○鈴木立郎(国立研究開発法人海洋研究開発機構)・小室芳樹(国立研究開発法人海洋研究開発機構)・建部洋晶(国立研究開発法人海洋研究開発機構)・草原和弥(国立研究開発法人海洋研究開発機構)
20F-18	海洋化学一般（第2会場）
20F-18-P1	栄養塩標準物質の認証と海水中のケイ酸塩測定に使うSIトレーサブルなケイ素標準液の作成（その２）
	○青山道夫(筑波大学　生命環境系)・曽根知美(マリン・ワーク・ジャパン)・有井康博(マリン・ワーク・ジャパン)・藤木なぎさ(マリン・ワーク・ジャパン)・三好友子(マリン・ワーク・ジャパン)

11月29日

20F-10	極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究（第3会場）
20F-10-P1	環境DNAからみえる南大洋季節海氷域の種組成と分布
	○立花愛子(東京海洋大学)・真壁竜介(国立極地研究所)・茂木正人(東京海洋大学)
20F-10-P2	降雪が結氷初期の海氷凍結過程に及ぼす影響について
	○豊田威信(北海道大学)・小野貴司(北海道大学)・谷川朋範(気象研究所)・Pat Wongpan(タスマニア大学)・野村大樹(北海道大学)
20F-11	中緯度海洋の果たす役割（第1会場）
20F-11-P1	アルゴデータに基づくインド洋亜熱帯モード水の季節・経年変動
	○Hanani Adiwira(東北大学大学院)・Toshio Suga(東北大学大学院)
20F-11-P2	北太平洋亜熱帯モード水の十年規模変動が密度躍層に与える影響について
	○小橋史明(東京海洋大学)・中野俊也(気象庁)・岩坂直人(東京海洋大学)・尾形友道(JAMSTEC)
20F-11-P3	中緯度における中規模渦活動に伴うクロロフィルの水平スケール変動
	○金子仁(東京大学 大気海洋研究所)・伊藤進一(東京大学 大気海洋研究所)
20F-11-P4	2019年台風19号の降水に対する海面水温偏差の感度実験
	○飯塚聡(防災科学技術研究所)・川村隆一(九州大学)・中村尚(東京大学)・美山透(海洋研究開発機構)
20F-11-P5	北太平洋亜熱帯モード水形成域における冬季海面水温偏差の再出現について
	○秋元七海(東京海洋大学大学院)・小橋史明(東京海洋大学大学院)・岩坂直人(東京海洋大学大学院)
20F-15	海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題（第2会場）
20F-15-P1	小学校の教科書と海洋リテラシーの取組み
	○窪川かおる(帝京大学SIRC)
20F-15-P2	新型コロナ禍における鹿島市干潟交流館の運営状況
	○藤井直紀(佐賀大学)